



環境にやさしい植物性インキを再生紙を使用しています

初冬の「紅葉」 青空に映えて真っ直ぐ

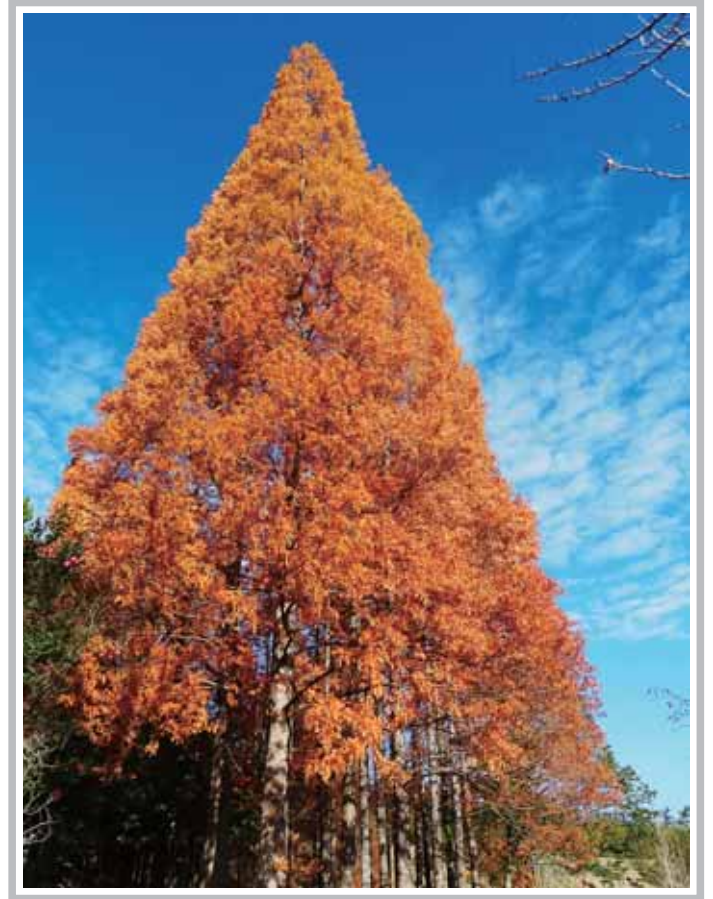
いよいよ師走です。冷たい北風が吹き始める季節です。ついこの前まで赤や黄色に彩られていたソメイヨシノやハナノキ、イチョウなどの葉っぱは、すっかり落ちてしまいました。

しかしこの時期、色鮮やかに紅葉し青空をバックに真っ直ぐそびえ立つ樹木があります。「メタセコイア」です。和名は「あけぼのすぎ曙杉」で、「生きた化石」とも言われます。

メタセコイアの化石は、日本を含む北極周辺の新第三紀(約2,300万年前～約260万年前)の層に広く分布していました。ところが、昭和20年に中国四川省で現存することが確認され、昭和24年には国と皇室が種子などを譲り受け、全国各地の公園や並木道、学校などに植えました。

陶史の森は、昭和47年度から造成工事が始まり昭和50年度に完成していますので、その頃にバーベキュー場やちびっ子広場、桃山緑地にメタセコイアを植えたものと思われます。樹高は、およそ15～20m。最大で40mにもなるそうです。

落葉してしまう前に、ぜひ陶史の森に来て美しい円すい形をご覧ください。



森の日記

秋の天体教室

10月24日(土)

天候不順のため「天体教室」はこのところ中止続きでしたが、この日は好天に恵まれ、1年ぶりに開催することができました。

アマチュア天文家を講師に迎え、大型望遠鏡2台を使って、でこぼこの大きさがさまざまな「月面クレーター」や、ぼんやり薄水色に見える「リング状星団」を観察しました。

そのほか、「夏の第三角」や「カシオペア座」などの星座も教えてもらいました。

参加した皆さんは、肉眼では見ることのできない世界に驚いた様子で、秋の星空を観察していました。



教室のご案内

12月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
12月20日(日) 午前9時～11時30分
初冬の野鳥を観察します。

平成28年1月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
1月24日(日) 午前9時～11時30分
真冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するにはベストシーズンと言えます。ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を無料で貸し出しています。ぜひお越しください。

お知らせ

12月28日(月)～1月3日(日)は
休園します。